

重要取組シート

教育委員会事務局 教職員人事部 教職員企画課

取組項目		働きやすく「働きがい」のある学校の実現
現状・課題		○教員の勤務時間外在校等時間は各種取組によって、働き方改革プラン SMILE 策定前の平成 28 年度と比較すると減少（平成 28 年度：38 時間 43 分、令和 7 年 2 月末現在：31 時間 28 分）したが、勤務時間外在校等時間が月 80 時間を超える教員数は依然として多い。また、長時間勤務の対象者が固定化されている傾向がある。 ○教員が長時間勤務によって余裕がなくなることは、こどもの変化に気づけなくなったり、事務処理誤りを誘発したりしかねない要因となる。また、教員が健康な状態で、学ぶ時間を確保しながら専門性を高め、こどもたちへの教育に邁進できる環境を整備することは、教職の魅力を向上させ、教員不足、教員のなり手不足の解消につながると考える。 ○教育の充実、ひいては「こどもたちのウェルビーイング」につなげるには、教員が専門性を発揮できる環境を整備し、教員が心身ともに健康な状態で、やりがいを持ち、変化を前向きにとらえながら学び続け、活躍できる「教員のウェルビーイング」を確保することが必要である。
取組の内容		○働き方改革推進会議において学校園との連携を強化し、「ウェルビーイング向上のための取組指針」の重点取組を中心に推進する。 ○学校教育活動を 3 つの視点「慣習や前例にとらわれずに社会情勢をとらえる」「本来の目的に立ち返る」「持続可能か」で見つめ直し、こどもたちに向き合う時間や授業準備の時間を確保することでこどもたちの成長に資する質の高い教育をめざす。 ○「働きやすく」「働きがい」のある学校園の実現のため、働き方改革の更なる加速化をめざし、次年度以降の計画を策定する。
スケジュール	前期 (～9 月)	☐ 令和 6 年度の検証（～5 月） ☐ 働き方改革推進会議（第 1 回）（6 月） ☐ 重点取組の進捗確認（8 月） ☐ 働き方改革推進会議（第 2 回）（9 月） ☐ 令和 6 年度の検証を踏まえた次年度以降の計画案の検討（～9 月）
	後期 (～3 月)	☐ 働き方改革推進会議（第 3 回）（12 月） ☐ 教職員対象 働き方改革に関するアンケート実施（12 月） ☐ 重点取組の進捗確認（1 月） ☐ 取組指針指標到達度確認（3 月） ☐ 次年度以降の計画策定（3 月）
	次年度以降	☐ 新計画のもと、取組の推進
進捗状況	前期 (～9 月)	

(様式 4)

	後期 (～3 月)		
2025 堺市基本計画	該当する 施策	3－（2）子どもの可能性を伸ばし未来を切り拓く力を育む教育の推進 3－（4）安心して学べる教育環境の充実	
	寄与する KPI	学力調査の堺市の平均値（全国を 100 とした場合） [現状値 小6 100.5 中3 95.8（2019年度）、 小6 96.1 中3 96.7（2024年度）]	目標値（2025 年度） 小 6 103.0 中 3 100.0
		「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところにつ いて分かるまで教えてくれる（当てはまる・どちらかといえば当てはま る）」と答えた児童生徒の割合 [現状値：小6 88.4%、中2 78.8%（2019年度） 小6 90.6% 中2 87.3%（2024年度）]	小 6 90.0% 中 2 85.0%
未来都市計画 堺市SDGS	最も貢献する SDGsのゴール	ゴール番号 4	質の高い教育をみんなに
	寄与する KPI	学力調査の堺市の平均値（全国を 100 とした場合） [現状値 小 6 100.5 中 3 95.8（2019 年度）、 小 6 96.1 中 3 96.7（2024 年度）]	目標値（2025 年度） 小 6 103.0 中 3 100.0